



ほうき 議会だより

第75号

2023年
10月25日



岸本中学校 体育祭

おもな内容

- 令和4年度決算 2～4ページ
- 令和5年度補正予算（第3号） 5ページ
- 全員協議会 6ページ
- 議会の視点 7～8ページ
- 委員会活動報告 9ページ
- 陳情・請願 10ページ
- 広報委員会 行政視察報告 11ページ
- 一般質問 12～19ページ
- 議会の虫めがね 編集後記 20ページ

人の動き

	令和5年10月1日現在	前年同月比
人口	10,315 人	△132人
(男)	4,946 人	△79人
(女)	5,369 人	△53人
世帯数	3,863 世帯	1世帯

伯耆町議会へのお問い合わせ、ご意見をお待ちしております！

伯耆町ホームページから、「議会の情報」→「議会事務局」ページ項目最下部
「オンラインによるお問い合わせ、ご意見はこちら」に進んでいただくと送信できます。



みんなでCHECK!!
町のお金の
使われ方



令和4年度の実質収支は

5億449万円の



黒字

(A)－(B)－(C)

全議員により構成された「予算決算等常任委員会」に付託され、慎重審議の結果、令和4年度の町会計収支を賛成多数で認定しました。

歳入総額(A)

84億6,417万円

歳出総額(B)

78億6,789万円

翌年度への繰り越し額(C)

9,178万円

収支全体の特徴

全体的な収支の状況は、コロナ感染症の対応、国際情勢の影響により、電気代等の物価高騰が進み、町財政にも大きな影響が及んだ一年であった。

令和3年度の実質単年度収支▲9,104万円に対し、令和4年度の実質単年度収支は1億6,977万円。

決算に関する

議会からの 審査意見

〈一部抜粋〉

Q1 寄付採納事務取扱基準を制定し、行政の中立性並びに公平性等を確保されたい。

A1 行政目的に資するものかどうかで判断している。相続登記の申請義務化など、国の動向を注視しながら研究していく。来年度すぐにスタートすることは難しい。

Q2 交通安全対策事業について、運転免許証の自主返納制度支援品の対象拡大を図りたい。

A2 ガソリン券配布事業がタクシー利用促進についても有効だった。今後の配布予定もあるので、これを含めて研究していく。

Q3 お試し住宅の敷地管理については年4回程度を目安とし、除草並びに除草剤散布等を行い適切な管理をされたい。

A3 適正な管理をしていく。

Q4 放課後児童クラブへの連絡手段は現状に加え、デジタル活用も検討されたい。

A4 出欠確認等、出来るところから進めていきたい。小中学校のGIGAスクール

Q5 端末更新が今後想定され、この端末の有効活用を検討する。

A5 マイナンバーカード交付等の事務事業については、その対応窓口の設定をするなどして町民負担の軽減並びにマイナンバーカードの普及にも大きく寄与したことは評価できる。交付事務自体は、それほど件数がある状況ではない。現在は、月2回の時間外窓口を設置しているが、月1回にする等工夫をする。マイナンバーカードについては、職員に、医療機関に行く際には使ってみるよう声掛けしている。また、来年度から更新の対応が必要になる。窓口の強化が必要になるかもしれない。

現地調査



鬼の館 草刈り事業



ゆうあいハル改修事業



日光農村広場グラウンド管理



植田正治写真美術館
エレベータ改修事業



総合スポーツ公園
ボルタリングスペース設置事業



岸本中学校プール状況

主な議案の採決結果（○賛成 ×反対）

議案等に対する各議員の賛否（令和5年9月定例会）

議案番号	議案名	議員名（議席番号順）													
		大床桂介	上田博文	片岡千明	長谷川満	杉本大介	乾裕	永井欣也	杉原良仁	一橋信介	渡部勇	細田栄	幅田千富美	大森英一	勝部俊徳
49	伯耆町特別医療費助成条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	欠	○	○	-
50	伯耆町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例及び伯耆町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業並びに特定子ども・子育て支援施設等の運営に関する基準を定める条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	欠	○	○	-	
-	人権擁護委員候補者の推薦について	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	欠	○	○	-	
51	物品購入契約の締結について（大滝放牧場堆肥運搬車両）	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	欠	○	○	-	
52	工事請負契約の変更契約について（柘水フィールドステーション長寿命化工事）	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	欠	×	○	-	
53	令和5年度伯耆町一般会計補正予算（第3号）	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	欠	×	○	-	
54	令和5年度伯耆町国民健康保険特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	欠	○	○	-	
55	令和5年度伯耆町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	欠	○	○	-	
56	令和4年度伯耆町一般会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	欠	×	○	-	
57	令和4年度伯耆町町営公園墓地事業特別会計決算認定について	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	欠	○	○	-	
58	令和4年度伯耆町住宅新築資金等貸付事業特別会計決算認定について	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	欠	×	○	-	
59	令和4年度伯耆町地域交通特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	欠	○	○	-	
60	令和4年度伯耆町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	欠	×	○	-	
61	令和4年度伯耆町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	欠	×	○	-	
62	令和4年度伯耆町水道事業会計決算認定について	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	欠	×	○	-	
63	令和4年度伯耆町丸山地区専用水道事業特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	欠	×	○	-	
64	令和4年度伯耆町下水道事業会計剰余金の処分及び決算認定について	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	欠	×	○	-	
65	令和4年度伯耆町浄化槽整備事業特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	欠	×	○	-	
66	令和4年度伯耆町索道事業特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	○	○	欠	○	×	欠	×	○	-	
67	令和4年度鳥取県西部町村情報公開・個人情報保護審査会特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	欠	○	○	-	

（※）勝部俊徳議員は議長のため採決に参加していない。

暮らしの安心安全を守る

令和5年度一般会計補正予算(第3号) 可決

○今回補正額 3億6700万円の増額

○補正後歳出予算総額 78億7400万円

※今回、一般会計補正予算における生活に密接した事業を抜粋して紹介します。

空家対策推進事業

台風、大雪に備えて、個人が危険空家の適正管理、除却することに対して支援

225万円



防犯機能付電話機等購入事業

65歳以上の者、障がい又は認知機能の低下が認められる者の防犯機能付きの電話又はテレビドアホンを購入費として上限1万円を支援

50万円



この通話は録音しています

新型コロナ・円安・物価高騰対策支援事業

新型コロナ禍の影響により売上げや利益が減少した町内事業者が取組む売上・利益減回復対策や円安、物価高騰対策に対して期限延長して支援

398万円

第5回ガソリン等購入助成券配布事業

全世帯と介護・障害福祉サービス事業所に対してガソリン等の購入の際に使用できる助成券を配布。1世帯2万円又は事業所には対象車両1台当たり2万円分。12月上旬に郵送。

8,276万円

低所得者世帯に対する光熱費助成事業

生活保護・児童扶養手当・特別児童扶養手当・特別障害者手当受給世帯に対してエアコン等の光熱費助成金を支給。24年3月まで支給。

434万円



二部公民館あり方検討会

二部公民館あり方検討会を設置し、今後、公民館の改修方針を検討

22万円



消防・防災対策事業

消火栓新設や消火栓の漏水などの緊急修繕対応に対して助成

326万円

みんなが知りたい 全員協議会

令和5年9月4日、21日に行われた全員協議会において、町執行部から説明を受け、議会協議を行ったので、その一部を紹介いたします。

●伯耆町特別医療費助成条例の一部改正について

- ・改正内容 18歳に達する日以後の最初の3月31日までの間にある児童の医療費の完全無償化に伴う条例改正。
- ・施行期日 令和6年4月1日

●人権擁護委員候補者の推薦について

- ・候補者氏名 光木 環（谷川）
- ・任期 令和6年1月1日～
- 令和8年12月31日

●物品購入契約について

- ・購入物品名 堆肥運搬ダンプトラック（4t）1台
- ・契約金額 1114万9040円
- ・契約の相手 （有）長谷自動車整備工場

●榊水ワールドステーション長寿命化工事請負契約の変更契約について

- ・変更内容
 - ①シャワーブースの断熱材補充
 - ②雪づり対策フェンス設置に伴う埋設物の撤去、給水配管工事
 - ③電気幹線動力配線の張替え
 - ④手摺、煙突周辺部の劣化部補修 など
- ・変更契約額 393万3600円の増額
- ・変更後の契約額 4791万6000円

●ロイヤルホテル大山の今後の展開について

- ・合同会社 恵比寿リゾートに令和5年7月19日に譲渡済
- ・運営委託先 アコー（フランス・パリを拠点に事業展開）ホテルブランド名

「メルキュール」

- ・今後のスケジュール
 - R5・12月～R6・3月改装工事
 - R6・2月～3月全面休館
 - R6・春 リブランドオープン
- ・従業員はすべて継続雇用



ロイヤルホテル大山

●新しいごみ処理施設（中間処理施設）に係る処理対象物の検討状況について

- ①当該施設での処理対応
 - ・処理対象物
 - ・当該施設での扱いは、可燃ごみ
 - ・不燃ごみ・粗大ごみ・缶、ビン
 - ・ペットボトル・プラスチック類とし、古紙類は民間処理、生きビンは廃止。
 - ・有害ごみ（電池・蛍光管）、小型家電は当該施設で保管又は委託処理。

託処理。

- ・布類・生ゴミ・廃食用油は可燃ごみとして処理
- ・処理困難物（塗料・耐火金庫・動物死骸）は今後検討
- ②整備スケジュール
 - ・用地選定 R5年度中
 - ・建設工事 R10年から13年
 - ・供用開始 R14年度

●開発協定に係る意見聴取について

- ・事業名 押口宅地分譲開発事業
- ・開発内容 17区画の分譲用宅地造成
- ・事業主体 Qs Company 株式会社（米子市淀江町）
- ・事業面積 4948.29㎡



押口宅地分譲地予定地



9月定例会において付託された令和4年度の会計決算議案を、予算決算等常任委員会で慎重に審査しました。その中でたくさんの質疑・議論がありましたので、一部を抜粋します。

○給食センター運営事業

Q 他自治体では民間の委託事業者が破綻したようだが、本町は大丈夫か。

A 万が一の時には、契約時に立てた履行保証人が、事業を履行することになっている。

○土地の評価替え

Q 家屋の全棟確認はしないか。

A 検討はしていきたい。



○英検受験補助金

Q 補助金交付基準を見直し、実力をもっと高められる補助に変えるべきでは。

A 本町の英語レベルは高くない。英語教育を検討する必要があると感じている。対応を検討したい。

○町民グラウンド

Q 照明施設を設置すべきでは。

A 利用団体が特定される。設備も高額。他団体が使われれば必要があれば検討すべき。また、隣接する民家もあり難しさもある。

Q 暑い中の運動が難しい状況で夜間からでもできるよう支援してほしい。

A ナイターは小学生が利用。夜までスポーツをすることを、子どもたちの教育をする立場では推奨できない。

○岸本中学校のプール

Q 体育の授業では総合スポーツ公園のプールを使うのか。

A 中学校のプールは老朽化が進み、効率よく管理状況も良いB & Gのプールを利用した。来年度は未定。

○スポーツ推進支援事業

Q 中学総体、高校総体の旅費も看板も出しているか。

A 何件も出したが全てを把握できないので、直接申請をしてほしい。

○植田正治写真美術館

Q 同じ広告費をかけるならインスタグラムの有料広告のほうが効果的では。

A 当館のインスタグラムはあるので情報発信はしている。

○美術館周辺にぎわい創出イベント補助金

Q 美術館は無料開放している。美術館にも利益が出るよう協議しないか。

A 事業見直しで検討したい。



○有害鳥獣駆除事業

Q 埋葬が負担と聞か。

A 鳥獣の処理は国・県の指導があり順守するしかない

○空き家対策

Q 税の不平等がないようにきちんと調査対応し、代執行を進めてほしい。

A 特定空き家、管理不全空き家を把握し、ガイドラインを確認して進めたい。

○県知事・県議会議員選挙費

Q 今回の選挙公報は新聞折込。新聞を取っていない人、防災無線を聞けない人は、情報を得る機会がないのではないか。

A 投票日の2日前に届ける必要があり、郵送には時間が限られてしまい、届かない可能性が高かった。検討はしたい。

○消防施設整備補助金

Q 消火栓等は町がやるべきもの。補助率を分けず、一律80%にしないか。また、特定空き家

の除却並みに、公民館除却補助上限を見直さないか。

A 検討する。



○財産の寄付

Q 寄付採納基準があるか。違法ではないが、将来問題を残す。

A 経費がかからず将来活用が期待できるものをもちょうが、基準については検討が必要。

○コミュニティプラザ

Q 使用頻度が少ない。電気料金も高いので見直しが必要ではないか。

A 施設としてどうかという点もあるが、電気量の対策を立てたい。

○免許証返納のデマンドバスチケット

Q 利用しづらい人もいる。他の選択肢は検討できないか。

A 交通安全対策事業であるが、日交路線での要望として伺う。

○出会いの場づくり事業

Q とっとり出会いサポーターセンター「えんトリー」登録者の個人情報を出さないのか。

A 全く情報は出ないし、町も聞いていない。

○放課後児童クラブ

Q 欠席連絡等は、保育所で使っているようなICTを活用しては。

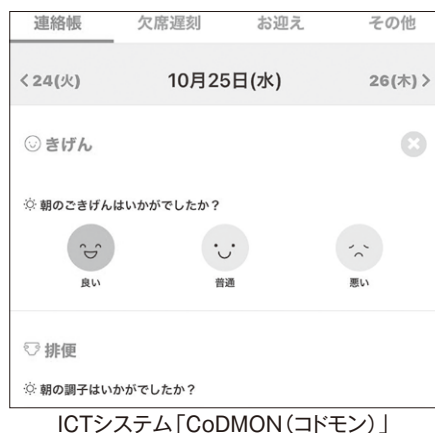
A 検討する。



○保育所運営

Q 置き去り事件等の心配はないか。

A 朝9時時点で確認し、欠席の連絡がない場合は保護者等に連絡する。



ICTシステム「CoDMON(コードモン)」

○保育所の調理員雇用

Q 確保に苦慮している。予備で年間雇用できないか。

A 検討したい。



議員定数は現状維持！

議会改革調査特別委員会

中間報告

特別委員会では令和3年6月定例会から議会及び議員の課題解決のための検討、実践方法などの調査を行ってきた。

議員定数について

結果
議員定数は現状維持とする。

採決

現状維持7人、減員4人
(議長、委員長、欠席者を除く。)

【主な意見】

- ・人口減少に伴い、定数についても見直すべき。
- ・住民アンケートからも定数は削減すべき。
- ・多様な意見を戦わせた方がよい。
- ・定数を削減すると立候補しにくくなる。

これまでの成果

議会の見える化の取り組み

- ・ホームページの充実、Facebookの活用

町民と語る会

- ・老人クラブ、農業委員会と実施

議会のデジタル化と危機管理の取り組み

- ・タブレット導入による会議のペーパーレス化
- ・議員間の連絡システムの活用(ラインワークス)

- ・大規模災害に対する議員対応方針の策定
- #### 議会個人情報保護条例制定
- など行ってきました。

総務経済常任委員会

○令和5年9月8日、19日開催

町民と語る会について協議

- ・請願第1号 消費税インボイス制度の実施中止を求める請願の審査

- ・陳情第11号 一日も早く選択的夫婦別姓制度の導入を促すよう政府に求める陳情の審査

- ・発議案第7号 選択的夫婦別姓制度の導入を求める意見書について

- ・発議案第8号 総務経済常任委員会の行政調査について

調査地

広島県坂町及び福岡県香春町ほか

調査事件

移住・定住推進事業に取り組んでいる自治体調査

教育民生常任委員会

○令和5年9月8日、19日開催

町民と語る会について協議

- ・陳情第10号 女性差別撤廃条約選択議定書のすみやかな批准を行うよう政府に求める陳情の審査

- ・発議案第9号 教育民生常任委員会の行政調査について

調査地

香川県小豆島町及び多度津町ほか

調査事件

子育て支援の取り組み並びにタウンプロモーション戦略等について

9月定例会みなさんからの請願・陳情はこうなりました

請願・陳情に対する各議員の賛否（令和5年9月定例会）

陳情番号	議員名（議席番号順）	結果	大床	上田	片岡	長谷川	杉本	乾	永井	杉原	一橋	渡部	細田	幅田	大森	勝部
			桂介	博文	千明	満	大介	裕	欣也	良仁	信介	勇	栄	千富美	英一	俊徳
陳情第10号	女性差別撤廃条約選択議定書のすみやかな批准を行うよう政府に求める陳情	趣旨採択	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	欠	○	○	-
請願第1号	消費税インボイス制度の実施中止を求める請願	趣旨採択	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	欠	○	○	-
陳情第11号	一日も早く選択的夫婦別姓の導入をするよう政府に求める陳情	採択	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	欠	○	○	-
発議案第7号	選択的夫婦別姓制度の導入を求める意見書について	可決	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	欠	○	○	-

（※）勝部俊徳議員は議長のため採決に参加していない。

選択的夫婦別姓制度の導入を求める意見書

別姓を望む人に、その選択を認める選択的夫婦別姓制度の導入を求める声はますます切実です。現行の民法では夫婦別姓での婚姻が認められないため、望まぬ改姓、事実婚、通称使用などによる不利益・不都合を強いられています。

1996年に法制審議会が選択的夫婦別姓の導入などを含む民法改正の要項を答申して四半世紀が経過しました。国連女性差別撤廃委員会をはじめとする国連や国際機関も日本政府に対し、民法の差別的規定の廃止を繰り返し勧告しています。また2015年及び2021年最高裁判所は「夫婦同姓の強制は合憲」という判断を示した一方、制度の在り方については国民の判断、国会に委ねるべきだと強調しました。

国民の判断という点では、2021年6月の世論調査で、約7割が選択的夫婦別姓制度に賛成し、未来を担う若い世代では選択的夫婦別姓を望む声はさらに高くなっています。

よって、国会においては、選択的夫婦別姓制度について積極的な議論を行い、本制度の導入をするよう求めます。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和5年9月22日

〈提出先〉 衆議院議長
参議院議長 } 様

鳥取県西伯郡伯耆町議会



訃報
細田栄議員(75歳)が、
10月7日に
ご逝去されました。

細田栄議員は伯耆町議会議員として、平成17年5月から18年5ヶ月間の長きにわたり、議長、監査委員、教育民生常任委員長、議会運営委員長、南部箕蚊屋広域連合議会選出監査委員を歴任し、伯耆町の発展に寄与されました。

あらためて生前のご功績に対し、敬意と感謝を申し上げますとともに、謹んで哀悼の意を表します。

合掌

町民に「わかる」を届けたい

調査委員

片岡千明 大床桂介 大森英一

杉本大介 長谷川満 上田博文

8月28日 議会広報紙のクリニックに参加 町村議会会館

本町議会だより第73号の講評。

○よかった点

表紙の写真の切り取り方が良い。
予算の重点項目の写真が統一感あってよい。
「議会の虫めがね」住民活動の紹介。企画が良い。

○指摘を受けたところ

フォントサイズが小さい。
行間が詰まった感じ。ゆとりを持たせると良い。
一般質問のタイトル、サブタイトルが長い。
タイトルは13文字程度がよい。



8月29日 丁寧な指導に感謝 千葉県芝山町議会



広報コンクールで上位入賞を果たされた、芝山町議会に視察を受け入れていただいた。

直接本町議会だよりに対して、ご指導いただいたこと。

- ・表紙、一般質問、議会の虫めがねのレイアウト
- ・カラー写真の使い方、2色刷り背景に青を多用しない。
- ・大みだし 小見出し リード文の導入
- ・キャッチコピーの導入
- ・人の背部からの写真より、人の表情がわかるようにしたほうが、目を引きやすい。

8月30日 シティプロモーションについて学ぶ 東京都足立区シティプロモーション課

足立区役所がすすめるシティプロモーションについて課長の栗木希さんから講義を受け、足立区のイメージを変えることで「区民が誇れるまち」へ変革させたその経緯と手法を学んだ。世論調査から足立区のネガティブなイメージを変革させたことは、区長をはじめ、シティプロモーション課、役所の職員のプロモーターとしての意識、また民間、区民の協力が必要であると認識できた。本町でも、議会広報委員として議員のプロモーションから地域を変える力としたい。



講師の栗木課長は「ホック伯耆町店」をよくご存じの鳥取にゆかりにある方でした。

一般質問 町政を問う!

一般質問とは、議員が町長等(執行機関)に対し、町の行政全般について執行状況や将来の方針等を問うものです。

7人の議員が一般質問を行いました。

伯耆町では1人60分の制限時間内であれば、質問の回数に制限はありません。臨場感ある本会議場での傍聴をお待ちしています。

基本ルール

- ・質問要旨は事前に通告
- ・持ち時間は1人60分
- ・町行政に関係があるもの

令和5年9月7日 開催

ページ	主な質問事項	質問議員
13	・給付型奨学金制度の導入を ・伯耆町におけるインクルーシブ教育の現状等について ほか	わたなべ いさむ 渡部 勇 
14	・伯耆町総合スポーツ公園にインクルーシブ遊具の設置を求める ・2022年度の伯耆町への移住者について ほか	いぬい ゆたか 乾 裕 
15	・ごみ減量化に向けた具体策は ・産前・産後ケア事業の周知強化で安心の子育てを	はせがわ みつる 長谷川 満 
16	・コロナ禍後の地域コミュニティづくりについて ・ふるさと納税について ほか	うえだ ひろふみ 上田 博文 
17	・森林の保全について ・食育について	ながい きんや 永井 欣也 
18	・本町の大規模風力発電事業について ・LGBT法について	おおどこ けいすけ 大床 桂介 
19	・マイナンバーカードの保険証一体化について ・自衛隊への名簿提出については ほか	はばたち ちふみ 幅田千富美 

スマートフォンなど携帯電話で一般質問の映像が流れるYouTubeの二次元バーコードはこちらです。



給付型 奨学金制度の導入を！

町長 奨学金制度は

所管していない

問 伯耆町独自の給付型奨学金を導入することで、人口減少・働き手不足の抑制に繋がると考えるが。

答 町長 奨学金制度を所管していない立場からして言うとは何とも言えない。

問 現行の奨学金制度の条件緩和をし、費用負担が軽減されれば少子化対策になるとの意見もあるが。

答 町長 少子化に結び付くのは何とも言えない。県で実施している奨学金の軽減措置は工夫する余地もある。それ以前に子ども家庭庁が創設され期待する。



問 現行の奨学金制度の理解の促進。そして、周知・広報の充実をすべきでは。

答 教育次長 大学等への進学を希望する高校生や大学等に在籍している学生、そのため現在も高校大学の方で周知・広報の方が効果がある。



わたなべ いさむ 議員
渡部 勇



ユーチューブ
動画は
こちらから

インクルーシブ教育の現状について

問 インクルーシブ教育の現状と取り組みと、課題はなにか。

答 教育次長 早期からの教育相談や就学支援を行うことで自立と社会参加ができる力を付けさせる。課題は全ての教員が特別支援教育に関する専門的な知識・技能の向上である。

問 別々の場所で教育を受けている現状があると思うが、共に学び合う時間はあるか。

答 教育次長 個人に応じた対応が必要であると考えられる。伯耆町では週6時間から14時間程度、個別の対応をする。

通学路における 危険箇所・要注意箇所の 把握と改善は

問 こしきの通学路の傍には水路があり、農業用水として活用している。水の必要な時期には水量が多く、大変危険と感じる対応が必要では。

答 教育次長 保護者から具体的な要望を挙げて頂きたい。



こしき団地付近の水路

インクルーシブ教育

障害のある人が障害のない人と一緒に学ぶインクルーシブ教育。障害者権利条約で規定された権利の1つだが、日本で実施されてきた特別支援教育との関係が問題になっている。

公園にインクルーシブ 遊具の設置を

教育次長

遊具の更新時には

整備を検討したい



いぬい ゆたか 議員 乾 裕



ユーチューブ
動画は
こちらから

問 伯耆町総合スポーツ公園へのインクルーシブ遊具の設置について教育長、町長の認識は。



伯耆町総合スポーツ公園の遊具

答 教育次長 ニーズの把握不足、整備基準が未検討等の課題はあるが、遊具更新の際は、検討する。

答 町長 教育次長が答弁したとおり。

移住者の動向は

問 県の公表によると、本町への2022年度の県外からの移住者は36人で、前年度比21人減であったが、町長の評価は。

答 町長 アンケート調査の結果は、実態とは差があると考えている。近年は分譲地の開発が進み、転入者の増加も見込まれており、対策を講ずるような事態ではないと捉えている。

る。

問 移住者へのPRも兼ねて、保育所の完全給食を実施しては。

答 町長 否定するものではない。経費等の問題もあるが、町の子育て会議に意見を聞いてみる。

ドローンを活用した救援物資等の配送を

問 本年は台風7号による豪雨で、県内でも土砂災害が発生し、多くの人々が孤立状態に陥った。そこで、救援物資を被災地にいち早く届けるためにドローンの活用等が必要と考えるが、町長の認識は。

答 町長 操縦などの技術面や効率性を考えると、基礎自治体が単独で整備するものではないとの認識である。



ドローン

インクルーシブ遊具

体に障害がある子ども、ない子ども一緒になって遊ぶことができる遊具のこと。

ごみ減量化に向けた 具体策は

町長

先進技術なども

研究していく

問 分別リサイクルによる再資源化、ごみ減量化などの現状は。また今後10年の可燃ごみの推計は。

答 町長 人口減少で排出量は基本的に減る。令和4年度は年間1650トン。平成25年度と比較すると年間145トン8.1%の減量。令和9年度には年間1475トン、令和14年度には年間1340トンとなる推計。

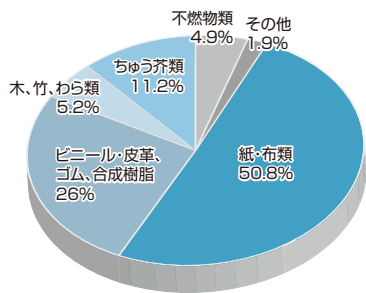
問 紙やプラスチック類などの高質ごみの増加要因は。

答 地域整備課長 小売店の増加や通信販売の利用増加により、高質ゴミが含まれる商品の購入が増加。高質ゴミ増加は、焼却温度が高温になるた

め、焼却施設や設備への影響運転管理上に支障が出てくる。

問 軟プラ圧縮の機械導入、電動生ごみ処理機への補助、事業系ごみへのサポート連携、モデルエリアを作る、減量の見える化を行うなど、意識醸成の手段は。

答 町長 先進技術やプラスチックの減量の見える化など、他の事例を情報収集し、



はせがわみつる 議員
長谷川 満



ユーチューブ
動画は
こちらから

モニター募集などで地域限定的に取り組み効果を検証したい。

産前・産後ケア事業の 周知強化、今後の展開

問 子育て世帯へは精神的サポートが必要不可欠。政府は、支援強化の方針。これまでの取組みと現状、今後の展望は。

答 健康対策課長 現在、利用者自己負担なしで、利用者及び利用日数が増加。対象乳児を4ヶ月未満から1歳未満に延長の見直し、利用基準も緩和され、今でも希望があれば利用可能。
今後は周知強化や面談による利用勧奨などを進めていきたい。

問 LINEやリモートなど気軽な相談窓口も必要。ビデオ通話などのオンライン相談は。

答 健康対策課長 質問いただいた相談窓口はあるが実績はゼロ。今後は子育て相談もネット予約ができるように声を上げやすい環境づくりに努めていきたい。

問 妊婦擬似体験スーツの貸し出しなどインパクトある産前の体験、勉強会等をより積極的に行えないか。

答 町長 子育て全般の男性の協力は少子化対策にもつながる。県が鳥取県助産師会に委託して「新米パパに送る子育て教室」年4回、土日に実施されている。



妊婦擬似体験スーツ

コロナ禍後の スポーツ振興の方針は

教育次長

時代に対応した

スポーツ振興を目指す

問 アフターコロナ社会に向けて、運動会やスポーツ大会の開催等、町のスポーツ振興についての教育長の考えは。

答 教育次長 今年度はコロナ前と同じように大会を開催することが重要だと考える。今後、スポーツ関係団体と連携し、時代の変化に対応しながらスポーツ活動等の推進を目指す。



6年ぶりの岸本地区町民運動会

高齢者の
コロナフレイル対応は

問 高齢者の介護予防教室、体力づくり教室などの参加状況やその対応は。

答 健康対策課長 認知症予防教室はコロナ禍後に再開されており、参加者も減少していない。また、参加者に簡易の検査も行ったが、認知機能の低下等は見られなかった。また、フレイル予防の観点から、保健師等による個別の健康相談や健康教室等、通いの場を確保するなどして対応している。

ふるさと納税について

問 地場産業の振興等に資するふるさと納税制度に、



うえだ ひろふみ 議員
上田 博文



ユーチューブ
動画は
こちらから

町長はどのように取り組む考えか。

答 町長 返礼品には、地場産品を優先し、町を応援してくれる方からの寄付をいただくという姿勢で取り組みたい。

問 令和4年度に寄付金が約1.5倍に伸びたが要因は何か。

答 総務課長 ペット同伴型宿泊施設の優待券や梨の返礼品が伸びている。

問 希望の多い返礼品は何か。

答 総務課長 返礼品については、ペット同伴型宿泊優待券、梨、鳥取和牛、水、地ビールの希望が多い。

問 町出身者を対象とした「墓掃除」「空き家点検」等を返礼品に加えてはどうか。

答 町長 墓掃除等のメニューは、実施する事業者の選定、墓地の状況確認などの手間もかかり、すぐに導入するには不確定要素が多い。



伯耆町ホームページ(ふるさと納税)

町内青少年の
国際交流派遣支援について

問 次世代を担う青少年の国際理解を深めさせるため、海外派遣事業に取り組みませんか。

答 教育次長 町では特定の国等との交流はしておらず、その要望もないことから、今は海外派遣事業に取り組む考えはない。

コロナフレイル

フレイルとは、日本語で「虚弱」という意味。コロナ禍で体を動かさない、食事が偏る、会話が減るなどの生活が続いて、身体や認知機能に影響が出ている状態。

多面的機能持つ森林の 保全是

町長 産業としての持続的な 取り組みが必要

問 本町面積の7割を占める森林の持つ多面的機能、特に水源かん養機能の重要性や今後の森林保全、管理についての考えを伺う。

答 町長 近年、大雨による災害が頻発。森林の多目的機能の維持のための適正な管理、保全是重要なテーマとの認識だが、林業全体の課題は山積している。

問 自然とは自ら然るべきも、放置しておいても、遷移は進むが、適宜適切な管理が必要ではないか。

答 産業課長 本町では伯耆町森林整備計画を策定し、林道の維持管理、管理意向調査、間伐造林などの補助事業を実施

しているが、現状森林管理の人手不足が大きな課題である。

問 地下水利用と乱開発防止の取り組み状況を伺う。

答 地域整備課長 独自に地下水保全条例及び施行規則を制定し、毎年、5社から毎月の地下水採水量の報告を受けている。

問 本町における保安林の状況、役割、機能等を伺う。

答 産業課長 町内で2324haの保安林が指定。伐採制限がされ、水源かん養等の保全がされる。

問 改めて町長の森林保全、管理に対する考えを伺う。



ながい きんや 議員
永井 欣也



ユーチューブ
動画は
こちらから

答 町長 産業政策の側面を忘れては立ち行かない。間伐材を搬出して需要に回す。地道な取り組みで、より良いものにする。



間伐による森林保全

学校における食育に ついて

問 本町の学校における食育の具体的な取り組みと成果について伺う。

答 教育次長 給食準備から片付け等の一連の指導。校内放送用の給食メッセージ作成。アレルギー対応の話し合い。給食の残さい率減少は成果と考える。

問 学校教育活動における食育の課題等について伺う。

答 教育次長 家庭との連携をより進める。朝食調べで、98%の児童生徒がとっているが、うち、約30%が菓子パンだけの児童生徒もあった。

問 文科省の栄養教諭への標準的な職務例通知に対する対応は。

答 教育次長 専門性を発揮できるような標準的な職務の明確化を図るため、本町の要綱作成に向け準備を進める。

風力発電事業に対する 立場は

町長

法の範囲内で関わり 中立的な立場である



おおどこ けいすけ
大床 桂介 議員



ユーチューブ
動画は
こちらから

問 鳥取西部風力発電事業の町長の立場、受け止め方について伺う。

答 町長 法の範囲で関わっていくが、町の法的な権限は限られている。プラスの面、マイナスの面があり中立的な立場をとっている。

問 事業ならびに着工計画は

答 企画課長 環境影響調査を実施し、準備書を用意している段階であり、着工は事業者資料で令和7年9月となっている。

問 関係する20集落への説明はどうだったか。意見集約に行政は関わるか。また、農

業従事者、農業協同組合、農業委員会、漁業組合、森林組合といった水利に係る個人および団体への説明はあったか。

答 企画課長 関係集落への説明会に関して事業者が実施する責任があり、町として把握していない。町が関係集落の意見を集約することはない。また、水利に係る個人、団体への意見は聞いていない。

問 影響は広範囲であり、町全体への住民説明会が必要と思うが。

答 企画課長 住民説明には規定があり、町全体で実施する説明会は法的根拠がない。町民に意見がある場合は、環境影響評価準備書が提出され

たのち、広告縦覧後に意見提出ができる。

問 町長は事業の反対運動、電子署名はご存じか。

答 町長 聞いている。



風力発電所

LGBT法について

問 LGBT理解増進法（通称LGBT法）について本年6月23日に施行された。町長の見解を伺う。

答 町長 多様性の理解を深め、寛容な社会をつくる大変意義のある法制化だと思う。

問 本年10月から開始される鳥取県独自のパートナーシップ制度の導入は。

答 町長 現時点では検討はしていないが、県から条例化などの対応が取られれば導入を検討する。

問 小学校、中学校での生徒に対する対応はあるか。

答 教育次長 文部科学省から性同一性障害の児童、生徒に対する細やかな対応の実施について通知がある。現在、学校現場では様々な科目、プログラムで理解を深める内容を取り入れている。

LGBT

LGBTは、「Lesbian（レズビアン）」、「Gay（ゲイ）」、「Bisexual（バイセクシュアル）」、「Transgender（トランスジェンダー）」の頭文字を取って名付けられた、幅広いセクシュアリティ（性のあり方）を総称する言葉

マイナ保険証を停止し 健康保険証の存続を

町長

利便性・有効性から
停止する考えはない

問 マイナンバーカードを一旦停止し、保険証の存続、一体化の撤回を国に求めないか。

答 町長 その考えはない。課題はあるが、一体化すれば個人が特定でき、利便性、有効性がある。

問 国は、マイナ保険証の総点検というが、本町はどんな内容か。

答 企画課長 本町の場合、住民基本台帳と連携してシステム構築されているため、7月21日までの点検ですべて終了している。



マイナンバーカード(見本)

自衛隊への名簿の提出は

問 いつから、どんな名簿で何名分提供されたか。本人同意なく、個人情報提供は



はばた ちふみ 議員
幅田 千富美



ユーチューブ
動画は
こちらから

憲法の定める基本的人権無視と言われても仕方がない。町長。教育長の見解、対応について問う。

答 町長 防衛省から要請があり、県内全自治体対応で本町が最後とのこと。2年前から応じている。

答 総務課長 令和2年88件、令和3年100件、令和4年94件、令和5年77件、18歳になられた方、令和2年度から令和5年度、合計359件の名簿提供した。

問 中学2年生職場体験で米子陸上自衛隊の入隊体験がいつから何名か。

答 教育次長 自衛隊職場体験は令和3年度から5年

度で10名、自衛隊送迎で実施している。

問 今年夏、岸本中学生と自衛隊員の交流が放映されたがどんな経緯、提案、位置づけで実施されたのか、今後、継続実施されるのか。

答 教育次長 岸本中学生と自衛隊の交流は6月22日昼休憩中に、自衛隊鳥取地方協力本部米子地域事務所との提案で自衛隊員の徒歩訓練中に実施された。参加者は66人程度で継続実施は考えていない。



岸本中学校と自衛隊の交流



臨床美術士2級
井澤 ゆうか さん
(伯耆町上細見)

脳が喜ぶ! 心が笑う! 臨床美術 … ありのままのあなたに 寄りそって …

★臨床美術とは?

○楽しみながらアート作品を作ることにより、脳が活性化され認知症予防や維持改善、さらに子供の感性教育や日常のストレス解消などに効果が期待できる芸術療法

★臨床美術との出会いは

中学校の美術の教員をしていたとき、特別支援の子供たちに寄りそったアートに取り組みたいという思いの中で、臨床美術を知り、教職を中断して、京都の美術大学に通いました。

京都在住の2012年当時、鳥取県には臨床美術士はいなかったため、京都から鳥取まで通って普及活動を始めました。

★講座の対象者は

主に、保育所の子供や介護施設の高齢者が中心ですが、小学校の特別授業、不登校生徒への講座も行っています。また、保育所、介護施設の職

員や保護者向けの講座の要請もありません。

伯耆町内では各地区公民館や保育所、伯耆町社協、文化センター、オレンジカフェ等で開催し、今後、保育士の研修会でも行う予定です。



子ども達との講座(写真提供 井澤さん)

★参加者の反響は

講座は、参加者が絵やオブジェを上手に作るのではなく、楽しみながら、自らの「五感」を働かせて個性を表現した作品を作り、その作品をみんなで見合わせることを行っています。

関係者からは「自己表現ができるようになった」「人に優しくなった」「笑顔が多くなった」等の声が聞かれ励みになっているところです。

★活動における課題は

最近では、臨床美術への関心も高まり講座開催の要請がありますが、講座を定期開催するための人材が不足しています。

今後、一緒に活動してもらえ臨床美術士の育成が必要と感じています。

★今後への抱負は

「臨床美術」をもっと多くの人に知ってもらいたいと思います。

そして子供から高齢者、またその関係者の皆さんが臨床美術に気軽に触れることができる場がたくさんできたら良いなと思います。



障がい者施設での講座風景
(写真提供 井澤さん)

編集後記

8月に広報委員会の行政視察を終え、誌面の改革は早く手をつけるべきと委員全員が意見一致して制作に取り掛かった今号ではありますが、変化を感じて頂けたでしょうか。文字が小さく読みにくいと長年指摘された点、堅苦しい表現、文字ばかりのレイアウトなど改善すべき箇所が多く、全てが変更されたわけではありませんが、読者の視点に立った誌面作り近づきつつあると自負しております。さらなる良きアドバイス、感想などを議会にぜひお伝えください。引き続き編集に活かしてまいります。

【編集】

議会広報常任委員会

- | | |
|------|-------|
| 委員長 | 片岡 千明 |
| 副委員長 | 大床 桂介 |
| 委員 | 大森 英一 |
| 委員 | 杉本 大介 |
| 委員 | 長谷川 満 |
| 委員 | 上田 博文 |

「議会だより」に対するご意見をお待ちしております。



この議会だよりは再生紙を使用して印刷されています。